地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ

たかそう連携だより

2026年発行
第238号

11月号

登録医大会を終えて …… 2
地域医療支援・連携センター長　佐藤 正通

地域連携症例検討会
腎臓・膠原病リウマチ内科 …… 3
腎臓・膠原病リウマチ内科部長　中里見 征央

専門・認定看護師紹介 …… 4
摂食・嚥下障害看護認定看護師　板垣 七奈子
摂食・嚥下障害看護認定看護師　藤田 歩美

緩和ケアニュース …… 5
栄養だより …… 6
医師紹介コーナー …… 7
地域医療連携登録医のご紹介 …… 8～9
外来診療担当表 …… 10～11
院長閑話 …… 12

碓井湖の紅葉

提供：患者サポートセンター　スタッフ

●地域医療支援病院　●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター

〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL https://takasaki.hosp.go.jp/
地域医療支援･連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】
患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】
- ●常に患者さん本位の医療を心がけます
- ●研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- ●医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- ●良き医療従事者の育成に努めます
- ●臨床研究を推進します
- ●健全な病院経営を行います

【看護の理念】
人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】
- ●誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- ●患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- ●病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- ●他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- ●病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- ●医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

第19回高崎総合医療センター
登録医大会を終えて



地域医療支援・連携センター長　佐藤 正通



2026年10月1日、第19回登録医大会を開催いたしました。例年のことではございますが、高崎市を主に地域で活躍される医科・歯科医師にご参加いただき、かくも盛大な登録医大会であったと感じております。今年も閉会の挨拶が困難な程の盛況ぶりでございましたが、ご挨拶いただきました諸兄の先生方、そしてご参加された全ての医師・歯科医師の方々に厚く御礼申し上げます。

少子化、超高齢社会の到来と人口減少が通常となりました日本社会にあって、医療、介護、福祉、看護を包括する社会保障につきましては、保険料収入の先細りに加え、年金受給の急速な増加により、社会保障給付金の伸びに財源（収入）が追い付かず、消費税減税などの政策も加わり、一層財源確保の不透明感が増していることなどが顕在化しております。加えて、2025年12月に公布された医療法等改正におきましては、1.地域医療構想の見直し、2.医師偏在是正に向けた総合的な対策、3.医療DXの推進等が要点としてまとめられ、医療に関しましては、その要件として効率性や厳格性が最大限に求められるものとなっております。





これを受けて、2025地域医療構想では、「治す医療」と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し医療機関の連携・再編・集約化の推進が謳われており、第9次医療計画（自治体：保健医療計画）により、地域の人口規模、流入・流出入院患者数を基準に二次保健医療圏区画見直しの議論が開始されております。群馬県下にあっても全域で人口は減少しており、医療機関や医師の地域偏在（診療科偏在）が顕在化している状況にあります。





このような医療の大きな環境と潮流の変化の渦中にあって、第19回高崎総合医療センター登録医大会は開催されました。内外を問わず多くの地域を担う医師が、学術面のみならず、地域医療についての情報交換や情報共有の場となり、笑顔でお互いの健在を称え合う場となったと、参加した医師として、皆様方との会話を通じて実感しております。当センターの登録医大会が、連綿と継続される患者診療を支える医師の勇気と希望の糧となることを祈っております。

これからも高崎総合医療センターは地域の医療機関、医師、そして医療者と共に、住民が安心して安全に暮らせる地域社会の建設を目指して邁進してまいります。この度はどうもありがとうございました。

第66回

地域連携症例検討会

腎臓・膠原病リウマチ内科領域疾患の診断と治療の連携



座長
冨澤 健史 先生
（浜尻クリニック）

腎臓・
膠原病リウマチ内科
部長
中里見 征央





第66回の地域連携症例検討会は当科が担当させていただきました。１症例目は高齢の関節リウマチ患者に対するJAK阻害薬投与の有用性について取り上げました。近年、高齢発症の関節リウマチが増加しております。高齢者は早期に治療介入を行わないと疼痛により廃用が進んでしまうリスクが高い一方で、併存症等の関係から強力な薬剤の使用が困難なため、治療に難渋するケースが多々あります。これまではグルココルチコイドで対応せざるを得ないことも多く、グルココルチコイドの有害事象が問題となっていました。今回使用したJAK阻害薬は非常に効果の高い抗リウマチ薬ですが、本薬剤も有害事象には十分な注意が必要です。一見すると高齢者には不適な印象ですが、JAK阻害薬投与によりグルココルチコイド等に頼らず早期に関節リウマチをコントロールすることが可能となるという点は大きなメリットとなります。2症例目は顎下腺炎を併発した伝染性単核球症の症例を取り上げました。顎下腺炎はシェーグレン病やIgG4関連疾患などで多く発症しますが、伝染性単核球症に併発した稀な症例を経験したため、提示いたしました。3症例目はサラゾスルファピリジンによる重症薬疹・無顆粒球症を発症した腸管ベーチェット病の症例を提示しました。当初、皮疹、肝障害、発熱などから、成人発症スティル病や悪性リンパ腫などが疑われましたが、詳細な病歴聴取を行った結果、直近でメサラジンがサラゾスルファピリジンに変更されていたことが判明し、診断に至りました。診療の基本である病歴聴取の重要性を再認識した症例でした。4症例目は高カリウム血症を再度取り上げました。腎臓領域、心臓領域ではARB/ACE阻害薬、非ステロイド性ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の有用性が明らかですが、これらの薬剤は高カリウム血症のリスクとなるため、十分注意してご使用いただけますと幸いです。





今回の症例検討会が、日々の診療の一助となれば幸いです。今後も地域の先生方と連携しながら、腎臓・膠原病リウマチ領域の診療に尽力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



専門・認定
看護師紹介



摂食・嚥下障害看護
認定看護師

板垣 七奈子

食べることは、毎日の暮らしの中にある大切なひとときです。入院中も、住み慣れた場所へ戻ってからも、その時間を安心して続けてほしい。そんな思いで日々患者さんと向き合っています。

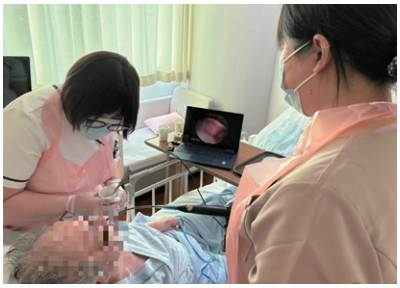
私は摂食嚥下障害看護認定看護師として、NST（栄養サポートチーム）の専従者を務め、多職種とともに栄養と嚥下の両面から支援しています。また、栄養サポート外来では、退院後の栄養状態の評価や胃瘻の管理を行い、食べにくさやむせなどの変化にも目を向け、必要な支援につなげています。

病院から地域へ。支援の場が変わっても、その方らしい「食べる」を支えられるよう、地域の皆さんと栄養と嚥下の支援をつないでいきたいと思います。



摂食・嚥下障害看護
認定看護師

藤田 歩美



私は呼吸器内科・外科病棟で勤務しており、日々の看護から「食べること」の困りごとを見つけ、支援に繋げています。呼吸器疾患だけではなく入院してくる患者さんの様々な背景を捉え、食事・飲み込み・栄養・口腔ケアに関する相談に対応しています。また病棟看護師との日々の関わりを大切にし、患者さんのちょっとした変化や「食べにくい」という声に耳を傾けながら、必要なケアや多職種との連携に繋げています。「いつでも相談できる、身近な認定看護師」として、患者さんの食べたいを支えます。

緩和ケア ニュース



＼ 最期まで「その人らしく」過ごすために ／

緩和ケアのリハビリテーション

緩和ケアでもリハビリはできます。
「やりたいこと」や「大切にしたいこと」を一緒に支えます。

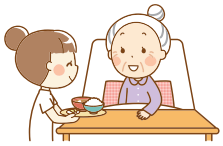
リハビリでできること

体を動かす



筋力や体力の低下を防ぎます

日常生活を支える



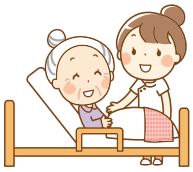
食事・着替え・トイレなど日常生活を支えます

やりたいことを応援



外出や趣味活動など「やりたいこと」をサポートします

つらさを和らげる



痛みや息苦しさに合わせて、楽な姿勢や動きを一緒に考えます

ご家族への支援



介助方法をお伝えし、ご家族の不安や負担を軽くします

「やりたい」を支えます

孫に会いたい



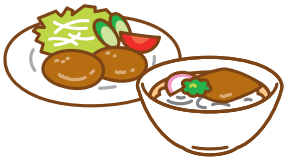
家に帰りたい



自分でトイレに行きたい



好きなものを食べたい



一人ひとりの大切にしたいことを、一緒に考え、支えていきます。

よくあるご質問

Q 痛みがあってもできますか？

状態に合わせて行います。

Q ベッドの上でもできますか？

はい、できます。
できることから始めます。

Q 家族も相談できますか？

はい、できます。
いつでもご相談ください。

栄養だより

手術前から身体を整える「プレハビリテーション」
－たかそう管理栄養士のお仕事シリーズ第三弾－

当院では、消化器外科で手術を受ける予定の患者さんを対象に、手術前から栄養状態や体力を整える「プレハビリテーション」に取り組んでいます。プレハビリテーションとは、手術後の早期回復を目指し、手術前から栄養や運動の面で身体を整えておく取り組みです。当院では医師、看護師、リハビリテーションスタッフ、管理栄養士などが連携し、患者さん一人ひとりの状態に応じた支援を行っています。

管理栄養士は、患者さんの身体計測や体組成測定を行い、栄養状態を確認します。その結果をもとに、手術に備えて必要なエネルギーやたんぱく質を確保できるよう、食事内容や食べ方について栄養指導を行います。特に、筋肉量が低下している場合には、日頃の食事でエネルギーやたんぱく質を補う方法を提案し、必要に応じて栄養補助食品についても紹介しています。また、患者さんの状態に応じて、より分かりやすく実践できるよう、個別の資料を用いて説明を行っています。

手術を受ける患者さんにとって、手術は身体に大きな負担がかかる出来事です。そのため、手術後だけではなく、手術前から身体の準備を始めることが重要です。管理栄養士は、患者さんができるだけ良好な栄養状態で手術を控え、その後の回復につなげられるよう、栄養面からサポートしています。今後も多職種と連携しながら、患者さん一人ひとりに寄り添った栄養支援を行い、安心して手術を受け、より良い回復につながるよう取り組んでいきます。



医師紹介

当センターの医師を紹介します。



脳神経外科

佐藤（さとう） 晃之（こうじ）

脳神経外科部長、心臓脳血管カテーテルセンター長を務めております佐藤晃之と申します。このたび連携だよりで発信する機会をいただいたので、最近の脳神経外科のトピックを１つ紹介したいと思います。

脳梗塞を発症して間もない時間帯（超急性期）にのみできる治療があることを知っていますか？　発症から4.5時間以内に血栓（血の塊）を溶かす点滴を行う「tPA静注療法」、そして発症から原則６時間以内（状況により24時間以内）に血栓を除去するカテーテル手術「機械的血栓回収術」です。従来の治療法では寝たきりになる可能性が高くても、これらの超急性期治療によって劇的に症状が良くなれば社会生活に復帰できる確率を上げることができます。ただ、そのためには早く病院に到着しなければなりません。重要なのは、自分の周りで急に具合が悪くなり脳梗塞を疑う症状（喋れない、半身まひなど）の人がいれば、早く救急車を呼ぶということです。それがご家族であれ、見知らぬ通行人の方であれ、自分の行動が他人の人生を救うかもしれません。いざというときにどう行動したら良いんだろう、というのを日頃から周りの人達と話し合えるといいですね。



麻酔科

麻生（あそう） 知寿（ちず）

2025年10月より高崎総合医療センターに赴任しました、麻酔科の麻生知寿と申します。群馬大学を卒業後、県内外の病院で麻酔科医として研鑽を積み、2017年より群馬大学医学部附属病院で臨床・教育・研究に携わり、手術室運営や周術期管理を担当してきました。当院でも2014～17年にかけて、勤務させていただきました。当時は手術室６部屋、年間麻酔科管理手術件数2000件程度でしたが、年々予定手術、緊急手術ともに増加し、2020年に手術室を11部屋に増築しています。2025年度には麻酔科管理件数4000件超となり、さらに増加しています。

手術中の安全はもちろん、術後の痛み･吐き気対策にも注力し、多くの患者さんに安心して手術を受けていただけるよう鋭意努力しています。引き続き、地域の中核病院として、円滑かつ迅速に手術治療を担っていけるよう、各診療科と連携し取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

医療法人 清明会 善如寺医院



医療法人 清明会
善如寺医院
院長
善如寺 恵子

院長あいさつ

いつも高崎総合医療センターには多岐にわたる患者様をご紹介させていただいておりますが、病診連携室やコンシェルジェには、きめ細やかな対応をしていただき、大変感謝しております。貴院担当医からは治療方針や診断において専門的な観点からの情報や適切な示唆を提供して頂き、患者様にも、とても感謝されております。これからも貴センターとの連携をさらに深め、地域のかかりつけ医としてさらに信頼される医療を心掛けてまいります。
どうぞ宜しくお願いいたします。



診療科・病院案内

内科・小児科・眼科・消化器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00～12:30)	●	●	●	●	●	◆	
午後(15:00～18:00)	●	●	●		●		

◆土曜は 13:00 まで

群馬県高崎市倉賀野町453-19　TEL：027-346-2382

患者様のよき相談相手になり、信頼される地域医療が行えるよう心掛けております。当院では赤ちゃんからご高齢の方まで広い年代層にわたり、内科、小児科、眼科、消化器内科、在宅医療を中心に診療を行っており、女性医師が胃・十二指腸内視鏡検査、大腸内視鏡やマンモグラフィ検査を担当しております。安心して検査や診察をお受けいただけるよう医師及びスタッフ一同日々取り組んでおります。また心臓・腹部・頸動脈超音波検査、レントゲン検査をはじめ各種がん検診、特定健診、予防接種も随時お受け（予約中心）しておりますので、どうぞご相談ください。なお、当院眼科は「アイ眼科」から診療を引き継ぎ、眼底３次元画像解析（OCT）検査を始めとする諸検査や診療を行っております。予約での診療もお受けしておりますのでご連絡ください。

下田内科胃腸科

下田内科胃腸科
院長
下田 光紀

院長あいさつ

当院は、患者さんの健康を生涯にわたってお守りするよきパートナーとして、わかりやすく、丁寧な診療に努めています。体調が悪いときや身体に何か変わりがあるときなどは不安や心配なことも多いかと思います。
どうぞ些細なことでもお気軽にご相談下さい。



診療科・病院案内

内科・消化器内科・内分泌,糖尿病内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00～12:30)	●	▲	●	●	●	●	
午後(15:00～18:00)	●		●		●		

※内分泌・糖尿病内科（下田容子専門医）は月曜午後、金曜午後、木曜午前、土曜午前（第 2,4 土曜のみ）
▲月曜日が祝日の場合のみ、翌火曜午前は診療あり

群馬県高崎市箕郷町西明屋380　TEL：027-371-5182

風邪や花粉症などの一般的な内科の病気、糖尿病をはじめとした生活習慣病（高血圧症・脂質異常症など）、胃腸疾患、内分泌疾患などを診察します。糖尿病専門医による治療、その他健診異常や健康相談、何科に受診したらよいか分からない場合も相談可能です。病状等により詳しい検査が必要な場合などは、近隣の医療機関へご紹介させていただく体制を整えております。地域の皆様の健康を守るため、明るく丁寧な診察をスタッフと共に行ってまいります。

久保医院



久保医院
院長
久保 淳

院長あいさつ

東日本大震災を機に、地域に根差した医療の重要性を痛感し、今後の医師生活でコミュニティと密着した医療の創造に取り組む決意で、平成25年9月に当院を開院しました。

通院が苦にならず、病気の予防段階から気軽に相談に来られるような住民との距離が近い「かかりつけ医」を目指しています。健康に変調、不安を感じた際には、どうぞお気軽にご相談ください。



診療科・病院案内

内科・糖尿病内科・循環器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日·祝
午前(8:30～12:00)	●	●		●	●	▲	
午後(14:30～18:00)	●	●		●	●		

▲土曜午前は8:30～12:30のみ診療

埼玉県本庄市栗崎113　TEL：0495-71-7138

当院は風邪などの内科診療の他、循環器疾患での心電図検査、胸部レントゲン検査、24時間ホルター心電図検査、心臓超音波検査（カラードップラー）、血液検査などにより診断、治療が可能です。糖尿病内科では、診断や治療に欠かせないHbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）検査は院内で敏速に測定でき、随時血糖検査、糖負荷試験、尿検査、糖尿病関連検査を実施しています。内分泌·甲状腺疾患では血液検査、甲状腺エコー検査などによって、診断、治療を行っています。その他、アナフィラキシー検査、睡眠時無呼吸症候群、骨密度測定にも対応しております。

もんや歯科クリニック



もんや歯科
クリニック
院長
紋谷 光徳

院長あいさつ

新潟大学歯学部附属病院に9年間勤務し、一般歯科の基礎から、小児歯科、義歯、外科的処置、高齢の方の歯科治療や食べる機能まで幅広く学びました。大学病院で培った知識と経験を生かし、患者さんのお話を丁寧に伺い、一人ひとりに合った治療をご提案することを大切にしています。生まれ育った地域の皆様のお口の健康を長く支えていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



診療科・病院案内

一般歯科・小児歯科・予防歯科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日·祝
午前(9:00～13:00)	●	●	●		●	●	
※午後(14:15～18:00)	●	●	●		●	●	

※土曜日は、17：30までの診療となります。

群馬県高崎市下小塙町878-4　TEL：027-344-8241

当院では、治療前にお口の状態や治療方法、通院期間、費用などをわかりやすくご説明します。必要な検査を行い、考えられる選択肢をお伝えしたうえで、患者さんのご希望を伺いながら、納得できる治療方針を一緒に考えます。治療後も予防とメインテナンスを通じて、できるだけ長くご自分の歯で食べられるよう支援します。大学病院や総合病院とも連携し、専門的な検査や治療が必要な場合は速やかにご紹介します。お子様から高齢の方まで、義歯、お口の機能、訪問診療もご相談ください。

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤正通 午前	(木村彰仁) 午前	(田村耕成) 午前	佐藤正通 午前	佐藤正通 午前
		佐藤正通 午後	佐藤正通 午後	(合田史) 午後・総合診療感染症外来	
栄養食事指導外来		佐藤正通 午後			
腎臓・膠原病リウマチ内科	内藤聖 午前：新患	(都野柚香) 午前	渡辺光治 午前	内藤聖 午前	中里見征央 午前
		中里見征央 午前		渡辺光治 午後	
血液内科	(三井健揮) 午後				
内分泌・代謝内科	渋沢信行	(髙橋里奈) 午前	植原良太	渋沢信行	渋沢信行
		(植原正也)			植原良太
脳神経内科	平柳公利	平柳公利	唐澤将紀	柴田真	木部朱理
	木口友紀		木口友紀		
呼吸器内科	山村彩 午前	細野達也	小林頂	中川純一	細野達也
	久野花凜	倉島優理亜	(田口浩平)	黒岩裕也	
				増田友美	
消化器内科	長沼篤 午前	星野崇 午前	柿﨑暁 午前	長沼篤 午前	上原早苗 (紹介のみ)
	安岡秀敏 午前	鈴木悠平 午前	安岡秀敏 午前	増田智之 午前	佐野希望 午前
	上原早苗 午前	佐野希望 午前	増田智之 午前	鈴木悠平 午前	書上愛 午前
	成清弘明 午前	成清弘明 午前	小玉祥平 午前	齋藤董 午前	小倉南海 午前
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 書上	安岡 / 増田 / (井戸)	上原 / 佐野 / 成清	上原 / 佐野 / 成清	長沼 / 鈴木 / 井戸
心臓血管内科 (午前)	太田昌樹	高橋伸弥	広井知歳	福田延昭	小林紘生
	村田智行	大駒直也	羽鳥直樹	髙橋洋右	谷内亮太
新患外来(午前)	福田延昭	福田延昭	高橋伸弥	羽鳥直樹	福田延昭
狭心症外来(午前)	村田智行				
不整脈外来(午後)	太田昌樹		太田昌樹		小林紘生
心不全総合外来(午後)		高橋伸弥		高橋伸弥	
ペースメーカー外来(午後)					太田昌樹
精神科	山﨑雄高	山﨑雄高	山﨑雄高	山﨑雄高	山﨑雄高
				(神出誠一郎)	
小児科	溝口史剛	溝口史剛 午後	倉田加奈子 午後	倉田加奈子 午前	佐藤幸一郎
	吉川晟羽 午後は第2,4,5週のみ	倉田加奈子 午前	佐藤幸一郎 午後	佐藤幸一郎 第2, 4週午後	小笠原聡 午前
	中島悠吾 午後	田口未奈	五十嵐恒雄 午前	小笠原聡	湯原幸弘 第1,2,4,5週
	大関望 午後	大関望 午前	石井大暉 午後	小林慶汰 午後	五十嵐恒雄 午後
	五十嵐恒雄 午前	五十嵐恒雄 午後	(滝沢琢己) 第2,4週午後	(春日夏那子) 午前	(浅見雄司) 第3週午後のみ
		木村優也 午後	<乳児健診> 午前	(八木龍介) 午後	
小児外科	(西明・高澤慎也) 第1, 3週午後		(西明・高澤慎也) 第3週午後		
外科 (消化器)	坂元一郎 午前：通常 / 午後：肝胆膵専門外来	小川哲史 午前	家田敬輔 午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来	平井圭太郎 午前：通常 / 午後：肝胆膵専門外来	宮前洋平 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来
	鈴木雅貴 午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来	真木茂雄	大曽根勝也 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来	関貴臣	根岸諒
	有馬大樹				
栄養サポート外来		小川哲史 午前			
禁煙外来		小川哲史 午後			
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	
泌尿器科	井上雅晴	柴田康博	交代制	柴田康博	交代制
	栗原聰太	栗原聰太		井上雅晴	
	大井薫子	大井薫子			

01 外来診療受付時間 8:30~11:00まで

（予約の場合は最終予約時間まで）
※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはこちらの二次元コードよりご確認ください。

地域医療支援・連携センターから地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、地域医療支援・連携センターを通した事前予約にご協力下さい。

令和8年10月15日現在

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科		田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
看護外来	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 尾林紗弥香 午前 成澤瑛理子 午前 <手術日>	鯉淵幸生 髙他大輔 午後 尾林紗弥香	髙他大輔 尾林紗弥香 成澤瑛理子	(中澤祐子) 第2,4週午前 <手術日>	鯉淵幸生 第2,4週午後 髙他大輔 午前 尾林紗弥香 第1,3,5週午後 成澤瑛理子 午前 交代制 第2,4週午前 <手術日>
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	羽鳥恭平 午前	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 第1,3週午前／第5週午前・午後 髙坂貴行 第2,4週 新井萌々花	<手術日>	伊部崇史 午前 髙坂貴行 新井萌々花 午後	<手術日>
整形外科	荒毅 午後 信太晃祐 高澤英嗣 茂木智彦	大澤敏久 大島淳文 毛呂駿臣	荒毅 午後は第1,3,5週のみ 信太晃祐 一ノ瀬剛 高澤英嗣 南舘和輝	新井厚 午後 茂木智彦 <手術日>	一ノ瀬剛 大島淳文 南舘和輝
骨粗鬆症外来		新井厚 午後			
形成外科	交代制 午後 <手術日>	正田晃基 計良佳彦 午後	正田晃基 第1,5週午前／第2,3,4週午後 計良佳彦 第2,3,4週午前／第1,5週午後 村木権聖 午後	計良佳彦 午前 村木権聖 午後 <手術日>	正田晃基 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳	連携枠 午前	<手術日>	鹿児島海衛	佐藤晃之
皮膚科	交代制	岡田悦子 午後 今井みちる 午前	岡田悦子 朝鳥彩子	今井みちる (井上千鶴) 午前	岡田悦子 朝鳥彩子
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 尾崎佑太	<産後健診> (小林梓) 午前	伊吹蘭 (金井眞理) 午前 (森田晶人) 午前 伊藤郁朗	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来					
眼科	土屋明 紹介・予約 久保田大智 紹介・予約	土屋明 久保田大智	土屋明 久保田大智	土屋明 久保田大智	土屋明 久保田大智
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻咽喉科頭頸部外科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史
放射線治療科	永島潤 田村翠／森田大貴	永島潤 田村翠／森田大貴	永島潤 田村翠／森田大貴 (中川真知)	永島潤 田村翠／森田大貴	永島潤 田村翠／森田大貴 (井上徹朗) 午前
歯科口腔外科	柴野正康 佐竹杏奈 原田優子	<手術日> (荒井亮／辻野啓一郎) 第2,4週のみ	柴野正康 佐竹杏奈 原田優子	柴野正康 佐竹杏奈 原田優子	<手術日>
新患外来	佐竹杏奈		柴野正康	佐竹杏奈 午前 柴野正康 午後	
歯科ペインクリニック	黒田英孝		黒田英孝		
摂食嚥下外来		府馬亮介／渡邉真央 午前			府馬亮介／渡邉真央 午前

(　) の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30～11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00～15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル：027-322-5835《平日 8:30～18:30／土曜日 8:30～17:15》

FAX：027-322-5925《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.65

交通ルールを守りましょう



院長　小川 哲史

先月、学会でドイツに行ってきました。ドイツに行くのは初めてで、もの珍しいことばかりでした。その中で特に感心したことは横断歩道で車がきちんと停車することです。たしか2021年の東京オリンピックの時だったと思いますが、日本では横断歩道で車が止まらないことが多いため、当然車は止まると考えている外国の人たちが車にひかれる危険があるという記事がありました。今回、ドイツの街を実際に見たことで、この記事にあるリスクを実感しました。

国別の横断歩道の停止率の正確なデータはありませんが、各国の交通機関等が個別に行った調査などから、およその傾向が分かります。ドイツやイギリスなど多くの欧州の国では、幼少期から徹底した「歩行者優先」の教育がなされており、また一時停止違反には高額な罰金や違反ポイントが厳密に科されるため、ほぼすべての車が停止するようです。一方、ベトナムやインドネシアなどの東南アジア諸国では交通文化として「車やバイクの流れが優先」とされるため、停止率は極めて低いようです。

さて日本ですが、JAF（日本自動車連盟）の全国調査で、2016年には一時停止率がわずか7.6%でしたが、取り締まりの強化や様々な啓発活動により2025年には56.7%まで改善しました。興味深いのは都道府県別の停止率で、全国1位は長野県の88.2%で10年連続の1位です。2位が岐阜県で78.0%、3位以下は福岡県が77.7%、熊本県77.4%、宮崎県76.5%と九州勢が続きます。一方、低いのは北海道が38.1%、沖縄県36.9%、福井県35.8%、大阪府35.5%、最低は34.3%の山口県でした。長野県の10年連続1位はすごいですね。子どもの頃からの交通安全教育などの成果でしょうが、長野の県民性によるものでしょうね。ちなみにわが群馬県は、私の悪い予想に反して全国平均をやや上回る59.8%の23位でした。

また、日本人は赤信号の横断歩道では車が全く来なくてもほとんどの人は停止して、信号無視をする人は2%ほどだといいます。一方、フランスでは約4割の人が無視して横断するそうで、またイギリスでは歩行者用の赤信号は「渡ると危険」という意味合いで、赤信号での横断自体は違法ではなく、安全を確認したうえ自己責任で渡ってよいそうです。

さて、今年度から月に一度ほど東京の病院に自分で車を運転して出張に行っています。9月のとある日の午後、病院近くの線路を越えてすぐの交差点に差し掛かったところ、日頃は交通量が多い交差点ですが、その時は空いていたので安全を確認して（？）右折しました。ところが曲がった瞬間に「そこの車、止まりなさい！」突然、パトカーからの大音量です。えっ！何かしでかしたか！左によって停車したところ、「ここは右折禁止ですよ。標識が見えなかったんですか」。しまった！「すみません、今日、田舎から出てきて初めてここを通りました。右折禁止には全く気が付きませんでした・・・」「3つも標識がありましたよ」「すみません、私は全くの田舎者で都会の道は慣れなくて・・・。これからは気を付けますから、今回は何とか見逃して・・・」何とも未練がましい必死の言い訳です。「そうはいきませんよ。たくさんの人も見ているし、キップを切ります！」やっぱりダメかと思った時、「こんな善良な市民を捕まえてないで、世の中にはもっと悪い奴がいるから、そういう奴を捕まえてくださいよ」・・・往生際の悪い私は、つい余計なことを口走りました。そんな私の捨て台詞に「本当にそうですよね～」と笑みを浮かべて返答した若いお巡りさん、交通違反者に対する適切で慣れた扱いに感心しました。

信号のない横断歩道では歩行者がいても停止せず、一方で赤信号の横断歩道では停止して渡らない日本人。こんなところに日欧の文化や教育の違い、社会ルールや自己責任に関する考え方の違いが表れますね。みなさん、交通ルールを守りましょう！違反をして何とか逃れようとするのはもちろん論外です！

（10月13日）

Information

行事などのお知らせ

第68回地域連携症例検討会

総合診療科・内科領域疾患の診断と治療の連携

日時：2026年11月12日㈭
18：45～20：00
演者：高崎総合医療センター
内科系診療部長
佐藤 正通
対象：医療従事者
高崎総合医療センターよりWEB配信
※申し込み必要

第163回キャンサーボード

日　時：2026年11月26日㈭
18：00～
診療科：産婦人科
会　場：高崎総合医療センター
講堂
対　象：医療従事者
※申し込み不要

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

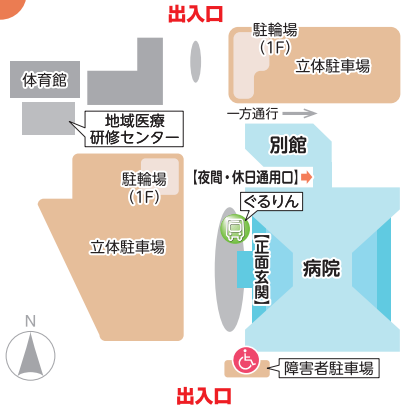
電話 027-322-5835（医療機関専用ダイヤル）

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html　検索

Facebook　Instagram

高崎総合医療センター案内図



平日7時30分～17時15分は**正面玄関**をご利用ください。
平日17時15分～翌朝7時30分、土日祝日は**夜間・休日通用口**をご利用ください。

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター